



7月の園だより

社会福祉法人 あいの里 さやま保育園

2024年 7月1日

**保育目標 照育 一おそだて
*ほとけさまや、周りの人たちにありがとうの感謝の気持ちを持つ。
*体を十分使って、水遊びや夏のあそびを友だちと楽しむ。



【法話】

お経

「きーみょーうむーりょーうじゅによらいー
なーもーふーかーしーぎーこー」

例年より少し遅い梅雨入りで、地域により豪雨災害をもたらし、晴れても蒸し暑いにも係わらず、朝晩は少し冷える事もあり、体調管理が難しい時期です。これから夏の暑さに向けて、栄養・水分・睡眠時間をしっかり整うよう心掛けたいものです。

保育園の礼拝では、「お正信偈」の最初の二句を歌にした「幼児のおつとめ」を、みんなで大きな声で、おつとめしています。

「お経」って何でしょう？お経は亡くなった人のために読むとか、お経を読むと良いことがあると思っている人がいますが、そうではありません。事故に遭わなかつたり、病気が治るわけでもありません。お経は、呪文でも、おまじないでもありません。お経は、お釈迦さまがお話しされたことを、あとに残すために、後の人たちが、文字を作り、文字にしてくださったものです。

お釈迦さまは、今から二千五百年の昔、老若男女、いろいろな人々に、たくさんのお話をされました。その仏さまのお話、真実の教えが説かれているのがお経なのです。生きている私のための教えが説かれているのですから、私が聞かせていただかなくては意味がありません。でも漢文に訳されたお経は難しいですから、私たちは「ご法話」を聴聞してお経のお心を聞かせていただきます。

お経を仏さま（阿弥陀如来さま）に向かって読むのは、仏徳讚嘆です。阿弥陀さまのお徳を讃嘆（ほめたたえ）させていただき、お経のお心をいただきましょう。

合 掌

今月の行事予定

- 1・16日 礼拝 11日 避難訓練「不審者発育測定(11日 あひる・ひよこ 12日 うさぎ・りす
16日 ぞう・きりん)
18日 クッキー作り 19日 誕生会
22日 支給認定提出締め切り 26日 集金引落
22日～26日 特別保育申し込み期間



「こんにちは、赤ちゃん」

5月6月保育園のひよこ組に、小さい赤ちゃんが入園してくれました。ひよこ組のほんのちょっと早く生まれたお友達は、お兄ちゃんお姉ちゃんです。赤ちゃんが、哺乳瓶でミルクを飲む様子、ベビーラックで寝っている様子を、優しい眼差しで見守っています。悲しい時抱っこされたり、優しく名前を呼ばれたり、おむつを交換して気持ちよくしてもらったり、そんな心地よさと、愛情と安心を日頃から感じている保育室なので、ちょっと小さい赤ちゃんを、保育者といっしょに温かく迎えてくれています。

あひる組のお友達と、ひよこ組のお友達も、保育室やホール側デッキでいっしょに遊ぶことがよくあります。不思議なことですが、自分より小さい子を認識すると、優しく「よしよし」してくれたり、おままごとの食材を「あーん」と食べさせてくれたり、眠っている子の前で人差し指を自分の口に当て「しー」と伝えてくれます。小さいながらも異年齢の集団の中で、周りの子どもたちや保育者の関わりを感じながら育っていく微笑ましい姿です。

また、反対に、自然な成長・発達なのですが、周りのお友達を意識し、関わりたいとする行動の表現が、かみつきやひつかきになることがあります。未満児の集団生活の中では、どうしても起こる成長の過程で、怪我になりそうな時は直ぐに止めますが、どんな欲求でも、子どものありのままの姿として受け止め、保育者が気持ちを代弁しながら、言葉の獲得やコミュニケーション力に繋がっていくようにしています。

6月28日に、山口県乳幼児の育ちと学び支援センターの林和子先生が、さやま保育園の保育を全クラス参観していただきました。「子どもたちが、伸び伸びとしていて、ありのままの自分が出せている」「保育者が、子ども一人ひとりを大切に保育している」と、お褒めの言葉をいただきました。日頃から、子どもたちの主体的にやりたいこと、やってみたいことにしっかりと耳を傾け、遊び込める環境作りや、保育者の働き方にもご理解いただいているおかげです。7月は、ひよこ組にお友達が増えたり、あひる組に進級したりしますが、常に全保育者で協働しながら保育を進めていますのでご安心ください。

